



国臨協関信

HP アドレス : <https://kanshinshibu.org>

関信支部ニュース第 227 号 令和 4 年1月

- 事務局／〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
国立国際医療研究センター病院
中央検査部門内
- 発行者／吉田茂久
- 編集委員／椎名将昭 竹内智也
屋良朝仁 中嶋菜緒美
- 印刷所／一喜堂印刷 ☎0268-35-2624

国立病院臨床検査技師協会関東信越支部 支部長 吉田 茂久



あけましておめでとうございます。
国臨協関信支部の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと謹んで
お喜び申し上げます。また、旧年中は多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も旧年にも増してご支援を賜りますようお願い申し上げます。

旧年中は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に翻弄された1年でしたが、新型コロナワクチンの接種が進んだことで功をそうしてか、新規感染者数も減少傾向に転じて、穏やかに新しい年を迎えられましたことに、安堵しております。また、干支は「壬寅」で、「陽氣を孕み、春の胎動を助く」と云われており、「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる」と云われています。旧年は厳しい年となりましたが、本年が良い年になることを切に願ってやみません。

お陰様で、今年度の国臨協関信支部の会員数は、690 名 (令和 3 年 11 月集計) となっています。これもひとえに地区会、施設の皆様方のご支援の賜物と、心より感謝しております。さて、旧年の支部活動を振り返ると、9 月に行った第 49 回関信支部学会は、テーマを「挑戦～臨床検査に今できること～」として、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大に伴う非常事態宣言下で、Zoom を用いた WEB 学会をライブ配信とオンデマンド配信にて開催いたしました。支部としては、初めて WEB 方式での開催となりましたが、一般演題 23 題の会員による口演発表と、学術委員会による分科会 (輸血検査・病理検査) がライブ配信で行われ、294 名の会員の方々に参加していただくことができました。

また、新たな試みとして学会特設サイトを設けて、①地区会ポスター (PowerPoint 版) では、各地区会からコロナ禍での活動状況を報告していただき、②新人紹介コーナーでは、新人会員の自己紹介を兼ねて熱いメッセージを掲載させていただきました。

WEB 形式での開催は、どこからでも気軽に参加できる利便性とライブ配信でのディスカッションや質疑など、インタラクティブなコミュニケーションについて改善が必要であることが認識でき、新しいスタイルの学会運営を試みることできた実り多い学会となりました。令和 4 年 9 月 3 日 (土) に開催を予定している支部学会は、第 50 回の記念学会となります。テーマを「未来への跳躍 ～過去から学び未来へつなぐ～」として開催予定です。開催方式は新型コロナ感染症の状況にもよりますが、集合方式と WEB 方式 (オンデマンド配信) を合わせたハイブリット方式での開催を検討しています。記念学会にふさわしいプログラムを検討してまいりますのでご期待ください。

学術研修会については、WEB 方式 (オンデマンド配信) で 3 回 (7 月、10 月、12 月) 視聴期間 2 週間として開催いたしました。ZOOM の操作にも慣れ、どこからでも気軽に参加して視聴いただくことが可能となり、「WEB 研修会」がすっかり定着してきたことを感じています。本年も引き続き WEB 研修会を積極的に活用して利便性の向上と知識・技術のスキルアップにつながる研修会を企画、運営してまいります。本年の 2 月中頃には、救急医療をテーマとした症例検討会と特別講演をライブ配信に

で開催しますので、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

最後に国臨協本部、国臨技長会、臨床検査専門職のご支援とご指導を頂きながら、各地区会との連携を密にして、会員の皆様方を中心とした支部活動に取り組んでまいります。

本年が、会員の皆様方にとって良い 1 年になりますよう心から祈念いたします。

NHO 関東信越グループ

医療担当臨床検査専門職 前島 基志



謹んで新春のお祝いを申し上げます

国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

北沢前臨床検査専門職から職務を引き継ぎ 9 か月、皆様方から多大なるご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、日頃より単身赴任や遠距離通勤を余儀なくされている皆様に対しては、改めて心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大防止の予防策を講じつつ、検査の充足やワクチン接種などへの迅速な対応を求められた施設も多かったのではないのでしょうか。また、報道でも「臨床検査技師」のキーワードが頻りに見聞きされ、社会からの注目の高さを実感いたしました。一方、タスク・シフト/シェアにつきましましては、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」(令和 3 年法律第 49 号) が公布・施行され、新たな 8 業務の研修も開始されております。私達を取り巻く環境も大きく変化し、現在の国立病院機構第四期中期計画に位置付けられている「変革期」を体感した一年間であったのではないのでしょうか。

そして、一昨年は中止とされていた国臨協等の事業活動につきましても、web を活用した学会・研修会として再開され始めております。私達もこの新しい方法を取込みながら、今後の教育や情報交換のツールとして、有効活用して行きたいと思っています。

最後になりますが、今後は徐々に再開されます地区会活動で、会員の皆様との関係をしっかりと築けるよう努めてまいります。本年が皆様方にとって素晴らしい年になることを祈念して、新年のご挨拶といたします。

謹賀
新年



新年を迎えて

茨城地区会会長 後藤 信之



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大により7月の総会が中止となり書面決議にて茨城地区会会長に拝命されました。茨城地区会は3施設で48名の会員がおりますが、茨城地区会の他施設の方とはお会い出来ていない状況です。

昨年の前半は新型コロナウイルス感染症感染拡大により総会や理事会、レクリエーション等は実施できませんでしたが、9月からの理事会はTeamsを利用してWebにて開催し、理事の皆さんの顔を見ながら開催できるようになりました。今年こそは会員の皆様と顔あわせて総会やレクリエーションを楽しみたいと思います。また、コロナ禍ではありますが、昨年も茨城地区会会報誌「いばこみ」を作成して新人会員の紹介や各施設の現状を発信できるようにしています。作成が完了次第、関信支部のホームページに掲載させていただく予定としますので閲覧していただけると幸いです。

さて、茨城県は2021年魅力度ランキングが全国で最下位になってしまいました。私、個人としてはおいしい食べ物や観光スポットが沢山あり、方言にも独特なところがあり魅力がある県だと思っています。今年の茨城地区会会報は工夫を凝らして、関信支部地区会魅力度ランキング第1位（何を基準とするか？わかりませんが）を目指していきたくと考えていますので会員の皆様の更なるご協力をお願いいたします。

最後に関信支部の発展と会員の皆様のご多幸とご健康を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

栃木地区会会長 林 元久



明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな脅威をもたらし、わが国では終息に向かいつつあるところに新たな変異のウイルスにより第6波がやってくるのではないかと脅かされる事態となりました。これにより、営業・外食やイベントの中止や自粛をしなければいけない状況になることは避けたいものです。また、半導体をはじめとする物資が不足する事により、様々なものが供給できない事態になり、検査試薬関係でも一部円滑な供給が困難になった製品がありました。

ワクチンや中和抗体の開発が徐々に進み解決の糸口も少し見えてきたのかも期待をしております。私が栃木に着任すると同時に世界的な蔓延により、様々な行事を自粛して、また、会議等もオンライン形式が当たり前になって、栃木地区会の

会員との交流が全くできていない現状です。

一日も早く終息して栃木地区会会員はもとより、関信支部の会員の皆様との交流ができることを願っております。

群馬地区会会長 松井 孝男



会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は当会事業の推進に格別のご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年度の地区会活動はCOVID-19の感染拡大により活動自粛を余儀なくされ、十分な活動を遂行する事が出来ませんでした。通年予定される学術活動、文化活動、親睦会も前年度と同様に不開催となり、集まれる機会を失ってしまいました。その中で年度の集大成とも言える群馬地区会定期総会をWeb形式で開催する事ができ、地区会総会、前島専門職のご講演、関信支部の報告を地区会会員の多数の参加により、個々の環境下で視聴する事で盛会に終了しました。このことは前年度の事業方針で掲げたオンラインなどを活用した事業の推進が実践できたものと考えます。本年度は十分な感染対策を実施した上での集合型による各種行事が出来ることを願います。

群馬地区会会報は昨年の総会時で会員数が56名となっております。会員は高崎総合医療センター、渋川医療センター、沼田病院、栗生楽泉園に勤務し、新型コロナウイルス対応と通常診療に奮闘しています。各施設の検査室ではPCR検査機器が整備され、今もなおPCR検査に取り組んでいる施設、鼻咽頭ぬぐい検体の採取に取り組んでいる施設、地域における新型コロナワクチン接種への協力を行った施設など、コロナ関連においてはそれぞれの施設で果たすべき検査科の役割について積極的に取り組んできた一年であり、高く評価された年となったのではないのでしょうか。新年を迎えて私たちは今まで以上に最新の技術や知識を習得するなど自己研鑽を積みと共に、チーム医療の現場に参画して患者さんへの最良の医療提供ができるよう取り組んで行く年にしたいと思います。

結びにあたり関信支部の皆様のご健康とご活躍を祈念し、新年の挨拶と致します。

千葉地区会副会長 山田 晃子



あけましておめでとうございます。

国臨協関信支部学会会員の皆様におかれましては穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本来、この紙面は地区会長が年頭の挨拶を申し上げるところですが、当会会長は任期を待たず退職されるため副会長の私に代行を務めるよう申し出を受けましたので、僭越ながら代わってご挨拶させていただきます。

昨年、一昨年と新型コロナウイルスに翻弄され、技師会活動も大きく変化してまいりました。支部学会や、地区会研修会もWeb開催になり、参集型は久しぶりのこととなりました。し

かし、これは新たな手法を得たと考えれば幅が広がったと思います。検査部門では各施設にPCR検査（LAMP法も含む）機器が整備され、さらに検査技師業務でも、法改正における業務の拡大、検査技師によるコロナワクチン接種など変革の年でした。

千葉地区会としては、第49回関信支部学会ポスターコーナーにおいてOne teamをテーマに出展いたしました。テーマ通りの一つにまとめた良い作品ができたと思います。

千葉地区会は、施設間会員の交流の輪を広げ、情報の共有・交換ができる会として、毎年文化活動、研修会を行ってきました。しかし2年続けて対面での開催ができておらず、とても残念でした。ワクチン接種が進み、感染者数の減少も続き、このまま第6波がこず、今年こそは皆様の顔を見ながら2年分の慰労を兼ね祝杯をあげ、交流を持てることを願っています。

最後になりましたが、国臨協関信支部の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念して、新年のご挨拶といたします。

埼玉地区会会長 佐藤 紀之

明けましておめでとうございます。

国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。埼玉地区会を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。

昨年9月の埼玉地区会定期総会（書面表決）にて会長を仰せつかりました。埼玉地区会は4施設（埼玉病院・西埼玉中央病院・東埼玉病院・リハビリテーションセンター病院）46名の会員となっております。一昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大に伴い地区会定期総会が書面表決となり、集合型総会ができませんでした。また会員交流会も中止となり会員相互の親睦を深める事ができなかったのが、今年こそ開催できるよう強く願っております。

昨年は、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が公布され順次施行されることとなりました。また臨床検査技師としては、「医療関係職種の業務範囲の見直し」（診療放射線技師法、臨床検査技師等に関する法律、臨床工学士法、救急救命士法）の改正法が令和3年10月1日施行されました。我々臨床検査技師の業務が拡大されたことは一つのチャンスだと思います。但し、法改正により追加された8業務の実施には、厚生労働大臣が指定する講習を受講することが求められています。埼玉地区会としては会員の皆様と連携を密にとり、情報発信しつつご理解を賜り一人でも多くの会員に受講していただけるよう努力していく所存であります。

今年度の事業においては、新型コロナウイルスの動向を見つつ参集型イベントの開催を役員一同にて検討していきたいと考えております。

最後になりましたが、この新しい年が関信支部会員の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



東京地区会会長 山崎 剛

明けましておめでとうございます。関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。東京地区会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も引き続きコロナ禍の一年でしたが、巷では第5波の終息後、これからの経済・社会活動を見据えた様々な対策が打ち出され、街は賑わいを取り戻しつつあります（12月時点）。東京地区会でも、12月に第1回の理事会を対面で開催し、まさにwithコロナへ向けた新たな一歩を踏み出しました。

この2年間、新型コロナ関連検査の導入や、感染対策、施設からの要望など、多くの施設が緊張感を持って対応してきたことと思います。その取り組みは、高く評価されましたが、緊張感の連続では身体が持ちません。東京地区会では、今年こそ、情報交換の場として、単純に楽しむために、研修会や会員交流会などの開催を考えています。何分、新型コロナウイルスの感染状況次第（オミクロン株なるものも出てきてしまいましたが…）ですが、「一年の計は元旦にあり」ですので、この位は言わせてください。

今後も人材育成やタスクシフト／シェアへの取り組み、臨地実習指導者への対応など、取り組むべき課題が沢山あります。先々を考えると不安になりますが、「どうせやるなら楽しくやろう」をモットーに、東京地区会5施設、133名の会員が一丸となって活動していきたいと思います。

最後になりますが、本年も関信支部の益々の発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

東京・山梨地区会会長 山田 晶

新年おめでとうございます。国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。東京・山梨地区会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

昨年は、東京医療センターを皮切りに新型コロナウイルスのワクチン接種が始まってから早いもので約1年が経ちました。ワクチン接種が急速に広がり、まさか検査技師がワクチン接種の打ち手になるなど夢にも思いませんでした。そんなコロナ禍で、開催自体危ぶまれた東京オリンピック・パラリンピックが1年延期して始まりました。始まればさすがスポーツの祭典、日本選手団の活躍には一喜一憂し胸を熱くさせられました。

さて、東京・山梨地区会活動については、昨年7月に開催された定期総会にて新執行部が承認されました。本来なら集合型の総会で審議をいただくところですが、コロナ禍の影響もあり書面による決議となりました。また、昨年度予定したほとんどの事業も中止を余儀なくされました。そんな中、第49回国臨協関信支部学会の地区会ポスターコーナーにて最優秀賞を頂くことができました。施設・地区会の紹介およびこの2年間での変化として「新型コロナウイルスについて」を作成しました。各施設から個性ある作品を1つにまとめた素



晴らしい作品に仕上がったと思います。令和3年度の事業方針ですが、4つの柱からなっており、地区会施設間会員の情報交換および共有化、関信支部との連携、研修会および文化活動、広報活動となっています。どの事業も新型コロナウイルス感染状況を鑑み、対面式やWeb会議など考慮しながら会務に当たりたいと思います。

最後に、本年も関信支部の発展と会員皆様のご健勝と活躍を祈願いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

神奈川地区会会長 樋口 晶子

あけましておめでとうございます。関信支部会員の皆さまには、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。神奈川地区会を代表しましてごあいさつ申し上げます。



神奈川地区会は5施設69名の会員で構成され、昨年10月の第40回定期総会を経て新執行部により令和3年度がスタートしております。承認されました事業計画案に基づき会員相互の交流を確保し新しい形の地区会活動ができないものかと模索しているところです。

さて、思えば昨年もコロナコロナで明け暮れてしまい、何もできなかった、どこにも行けなかったという声がたくさん聞かれました。学会、研修会、会議もWeb開催が当たり前となり画面越しの一人参加も慣れてしまった感があります。交通費をかけずに、遠くで開催される研修会にも参加ができ、何度でも聞くことができることなど、それなりに利点はありますが、そろそろ止まってしまった時を動かそうではありませんか。皆様は何を一番に取り戻しますか？私はやはりface-to-faceでマスクがあっても直接会える日常でしょうか。ぜひ2022年はそんな日常が戻ってくることを願いつつ、たとえ第六波が来てもコロナと過ごしたこの2年の教訓と知恵と勇氣と技術そして感染対策で明るく進んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、国臨協関信支部と会員の皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げ新年のあいさつとさせていただきます。

新潟地区会会長 中島 亮

明けましておめでとうございます。

国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。新潟地区会を代表して新年のご挨拶をさせていただきます。



新潟地区会は、3施設19名から構成されており私自身は4月より地区会員となりました。諸先輩方よりとても良い地区会だと聞いており、事業活動が大変楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、レクリエーションは中止となり、定期総会は書面決議となつてしまい他施設の地区会員の方々と一度も顔を合わせる機会が得られず非常に残念でした。今年は、施設間の連携を密にとり会員相互の

親睦や情報交換などの活動を、できるだけ顔が見える形で新型コロナウイルスの感染状況に応じて、集合型開催を遂行できるよう努めていきたいと考えております。

また関信支部ホームページの地区会に掲載されております新潟地区会会報誌「朱鷺っと」にて会員情報や最新トピックス等を、各施設の地区会員と協力しながら年3回配信しております。役員一同一丸となって取り組んで参りますので、会員皆様に閲覧していただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年も国臨協関信支部の発展と会員皆様のご多幸と益々のご活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

長野地区会会長 内川 正弘

明けましておめでとうございます。関信支部会員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと拝察申し上げます。

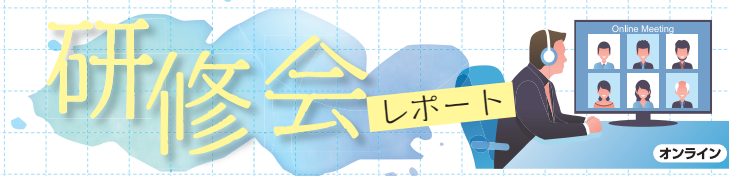


長野県におきましても今般の社会情勢により、地区会活動はコロナ禍以前のように行えませんでした。本支部ニュースが発行される頃の状況は予想すらつきませんが、病原生物体の脅威は認識しつつも、強い制限が加わることなく、我が国全体が安全で明るく活気に満ちていることを願うばかりです。

さて我々は一職業人としても、一社会人としても、これからも生きて行かなければなりません。本原稿執筆を依頼された各地区会長は恐らく全員昭和生まれ。昭和の時代でさえ、社会は常に変化してきました。時は既に令和。COVID-19が社会にもたらした影響は大きく、各施設や様々なコミュニティにおいても変化していくことは致し方ないと思います。「感染拡大防止の観点から以前行ってきた事ができない」と下を向くよりも、コロナ禍以前を振り返り整理すべきは整理すること、この時勢になって生まれた方法論を活用した経験を振り返り、有効であった手段は積極的に活用することはメリットが大きいと考えます。昨年に行われた専門学会ハイブリッド開催や関信支部学会オンデマンド配信から受けた恩恵は大きく、そのためにご尽力された皆様には感謝しかありません。現在は変化していく過渡期にあり、将来を担う世代を交えて展望する時期かもしれません。個人的には昭和40年代初頭生まれとして、昭和後期から平成世代の会員の皆様には「頻度・内容によるが泥臭く会員が集まることも無駄ではない」このことは伝えたいと思っています。

最後になりますが関信支部会員の皆様、お忙しい中でも支部活動を支える支部役員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。





臨床検査の精度および 品質確保推進研修に参加して

NHO 災害医療センター
假屋 敦



令和3年9月17日 9時30分～17時15分、テレビ会議システム Webex による臨床検査の精度および品質確保推進研修が行われました。今回の研修には国立病院機構、ナショナルセンターに従事している29名の臨床検査技師が参加しました。

午前中は関東信越グループ河田晃伸総括長のご挨拶から始まり、i-Laboratory有限責任事業組合ISO15189支援センターの奥田勲先生より是正処置の必要性・考え方・是正処置内容・QMSを構築する意義についてご講義がありました。内部監査員としての心得や被監査者への対応、是正処置の方法や緊急・是正・予防処置の違いなど、自分では曖昧な知識であったところがとても勉強になりました。内部監査員と被監査員は虚心坦懐であるための環境づくりがとても重要であると感じました。またそれに伴い働き方改革もあり、職場内の通観に努めたいと思いました。

午後は病理、生理、輸血、免疫と各部門の是正についてメーカーの先生方からご講義がありました。各部門での事例を元にどのように是正処置を行い、再発防止に取り組むか、また予防策を見つけるかを教えていただきました。事例を元にしていただくことで、より是正の考え方が理解できました。そして「なぜなぜ分析」を行うことで、明確な是正処置が行えるため、今後取り入れていきたいと思います。

1日と短い研修期間でしたが、内容はとても充実しておりました。今回の研修で学んだことを各部門にも周知し、また患者さんのためにも日々の業務に生かせるように自己研鑽したいと思います。最後になりましたが、大変お忙しい中ご講義下さった各先生方、また関わった全ての方々に深く感謝致します。誠に有難うございました。

令和3年度主任臨床検査技師 育成研修に参加して

NHO 東長野病院
内藤 真由美



令和3年10月19日（火）20日（水）、テレビ会議システム Webex を利用した「令和3年度主任臨床検査技師育成研修」が開催されました。

1日目はコミュニケーション能力や職場環境改善、主任の役割、業務統計などの講義とキャリアパスの重要性についてディスカッションを行い、2日目は1日目の講義の内容をテーマにしたグループディスカッションを行いました。

講義では後輩技師への指導や育成方法についてキャリアパスを用いて、より実践的で明日から行動できる具体的な話を聞くことができ、コミュニケーションの重要性や技師長、副技師長が期待する主任としての役割などを学ぶ事ができました。

グループディスカッションでは、「ワークライフバランス、タイムマネジメントスキルを身につけるためには」、「主任技師として臨床検査技師のスキルを向上させよう」、「業務におけるコミュニケーション能力の必要性」をテーマに各グループで話し合いを行いました。グループ内でも施設規模や病院の特色などが違うため多様な意見や質問が出ていて終了時間ギリギリまで白熱して討論する事ができました。

今回の研修で主任という立場の自分を見直すきっかけができ、聞く力と話す能力の未熟さや後輩技師育成の重要性を改めて認識する事が出来ました。今後はこの研修で学んだ事を日々の業務に役立てて実践していきたいと思います。

最後になりますが、ご多忙のなか今回の研修を企画、開催してくださいました関東甲信グループの皆様、技師長会の皆様、ファシリテーターをしてくださいました副技師長の皆様、心より感謝申し上げます。

神奈川病院 新病棟開棟いたしました



NHO 神奈川病院
谷岡 健作



神奈川病院では、平成 31 年 4 月から一般病棟の建て替え工事が行われていました。それまで使用していた一般病棟は昭和 44 年から昭和 47 年に建てられた 3 棟になります。建設後 40 年以上経過していますので、患者さんからは古くて狭いというご批判や、雨漏りや給排水管の詰まりなど老朽化が著しいことから、3 棟ある病棟を 4 階建て 1 棟に集約する計画となっていました。

その後、神奈川病院の長年の祈願であった新病棟が完成し、令和 3 年 3 月 21 日に開棟式典が執り行われました。新病棟は広大な敷地と自然豊かな環境を生かし、また既存の建物との連携や将来の整備計画を考慮し、機能的・経済性・効率性等を十分配慮した建物配置となっております。病棟の構成は、1 階には内科系（含む小児科）が 50 床、2 階は地域包括ケア病棟 50 床、3 階は外科系 50 床、4 階はユニット化により呼吸器系 30 床と結核 30 床です。さらに今回手術室、透析室、リハビリテーション室、（後に移転予定の栄養管理室、調理場）も新しくなりました。地震等の災害時でも医療の

提供が継続できるように免震構造も採用いたしました。

ただし、神奈川病院も新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、神奈川県内の結核病床を有する 4 病院のうち 2 病院が新型コロナウイルス感染症対応病院に転用された結果、その 2 病院の患者さんを受け入れることになりました。それに伴い、昨年から NHO 本部及び神奈川県と新病棟完成後の結核病床の運営について調整を図ってきたところですが、色々な状況や影響を鑑みて、結核病床はしばらくの間、旧棟での運用のまま 50 床に増床し運用することとなりました。

その後晴れて令和 3 年 9 月 24 日に、結核病床が新病棟に引っ越しを行い、神奈川病院が新しく生まれ変わることが出来ました。これにより地域医療支援病院として、より一層の良質で快適な医療を提供して地域医療に貢献していくことが出来ます。新病棟移転計画から運用開始まで紆余曲折が有りましたが、これから全職員一丸となって努力して参りますので皆様方のご支援、ご協力宜しくお願い申し上げます。



集まれ 若手技師

How about your work ▶▶

NHO 埼玉病院
菊池 香苗



みなさんこんにちは。

埼玉病院に勤めてます菊池
香苗です。

今年で埼玉病院歴、検査技師歴共に3年目で、
生理検査を担当しオンコールや休日の日直では
輸血検査も行なっています。

1年目の4月から生理検査担当となり、心電
図や呼吸機能検査、超音波検査、神経生理検査
など様々な検査に携わっています。毎日何人も
の検査をする心電図や呼吸機能検査は、初めの
頃は少しでも違和感を覚えたり見たことのない
結果であれば先輩技師に聞いたり、その都度調
べたりをしていましたが、その積み重ねからか
今では自分の判断で結果を臨床に送れるようにな
るまでになりました。興味深い結果や報告書
は、今でも見返すことのできるととても貴重なオ
リジナル参考書となっています。

2年目から現在にかけて超音波検査にも携わ
るようになりました。今メインで行っているの
は胎児超音波検査です。当院は産科外来での胎
児超音波検査は検査技師が行っていて、2年目
に入ってからすぐに先輩技師の指導を受けて検
査手技を学んでいきました。当時超音波検査自
体が初めてだったため、画像の見方・プローブ
の持ち方・操作方法など一から学びました。胎
児超音波検査は主に20週、28週、34週の妊婦
さんの検査を実施しています。赤ちゃんの頭の
先から足先まで全身をスクリーニングし、異常
がないかを見つけていきます。20週目の赤ちゃん
の体重はわずか300g前後です。28週を超
えてくると体重は1000gを超えてきます。そ
のたくましく小さな命が無事に産まれますよう
に、そして産まれてからすぐにケアができるよ
うに胎児超音波検査を通して妊婦さんをサポー

トしています。

毎日の業務を集中してこなすには息抜きも大
事だと思っています。特に休日には趣味に没頭
してリフレッシュしています。今までは映画鑑
賞やウィンドウショッピングなどインドアな趣
味が多かったのですが、最近は運動不足解消も
かねてロードバイクに乗るようになりました。
特に新型コロナウイルスの影響によりショッピ
ングモールや映画館に行けなくなってしまった
ということもあり、家で過ごす時間が多く運動
不足を痛感していました。そんな時、知り合い
の勧めでロードバイクに乗り始めました。はじ
めはサドルが高いのとハンドルも持ち慣れてい
なかったため、出かけるどころか乗ることすら
できませんでした。しかし、めげずに乗り続け
ていくうちに今では100キロほどの距離を乗り
こなせるまでに成長しました。密にならず且つ
運動にもなり、とても快適に楽しく過ごしてい
ます。

検査技師4年目となる今年の私は、入職した
ての頃の気持ち忘れないようにしたいと思いま
す。独り立ちし初めて一人で業務にあたったと
きの緊張感と責任感そして少しの誇らしさ、あ
の時の気持ちは忘れることはありません。現在
では、後輩もいて自分の経験をアドバイスする
機会も増えてきました。これからも様々な勉強
会や研修会に参加して試験を受けたりし、知識
を確かなものにしていきたいと思います。また
未経験の検査にも研修させていただき、医療に
貢献していけるように頑張りたいです。

最後に、早く
みなさんと研修
会等でお目にか
かれる日が来る
といいなと思い
ます。



目指そう! 認定資格で LEVEL UP



2級臨床検査士（血液学）

NHO 東京医療センター
五十嵐 和也



2019年の7月に二級臨床検査士（血液学）を受験し、合格しました。

当時私は群馬県の沼田病院で非常勤技師として勤務しており、検体検査をメインで行ってまいりました。学生時代から血液分野に興味があり受験できるようになったらすぐに受験しようと考えていました。

私が勉強をする際に使用していたテキストは「JAMT 技術教本シリーズ血液検査技術教本」、「JAMT 技術教本シリーズ血液細胞症例集」、「血液細胞ノート－形態速習アトラス－」の3冊と日本臨床検査同学院から発売されている「1号血液学テキスト」になります。

実際の試験は血液の知識を問うマークシート問題が50問、細胞判別問題が50問、実技試験の3部構成になっています。

マークシート問題は「JAMT 技術教本シリーズ血液検査技術教本」をしっかりと読み込み、過去問を5年分くらい解けば十分対応できると思います。フローサイトメトリーについての問題も出題されますのでCD分類なども覚えておく必要があります。

細胞判別問題は自施設で鏡検可能な症例はすべて確認しておいた方がいいと思います。ですが骨髓穿刺を自施設行っていない施設も多いと思います。その場合はテキストの写真をしっかりとみて特徴を覚えてください。特に顆粒球系と赤芽球系の各成熟段階は必ず出題されます。そして細胞判別問題は選択式ではないので細胞の正式名称を漢字で書けるようにしましょう。骨髓芽球をひらがなで回答すると減点になりますので気を付けてください。

実技試験は採血、染色、血球数のカウント、凝固検査の4分野になります。試験の合間には口頭試問もあります。実技試験に必要な情報は「1号血液学テキスト」に詳しく記載されています。採

血は実際に人に対して行うわけではなくシミュレーターのようなもので行います。評価のポイントは正しい手順で採血を行うことができるか、なので採血は失敗しても大丈夫です。アルコール消毒が大丈夫か確認しなかったり、駆血帯を外す前に針を抜いてしまったりしないように気を付けてください。染色は標本作製するところから始まります。私が受験した年は貧血症の検体と多血症の検体があり、それぞれ1枚しか標本作製ができなかったので失敗は許されませんでした。2枚の内、上手に作製できた方を染色します。ライトギムザ、メイギムザ両方の染色液が置いてあるのでどちらで染色しても大丈夫です。ギムザ液は自分で作るようになります。染色の際は自分の作製した標本の厚さによってギムザ液の濃度や染色時間を調節することもポイントになります。血球数のカウントは白血球数のカウントです。チュルク液と検体を混ぜ、計算盤でカウントします。この時、赤血球恒数なども問われるペーパー試験もあります。MCV、MCH、MCHCの計算の仕方や単位などは覚えておいてください。凝固検査はPT検査を用手法で行います。私は学生実習以来だったので何度も何度も練習しました。これについてはひたすら繰り返して練習し、機器で測定した値に近くなるように練習しましょう。またPT時間、PT比、PT活性、PT-INRについてはそれぞれどのような意味を持つか覚えておきましょう。私の時はPT検査が終わった後に口頭試問があり、DICの正式名称について日本語と英語の両方を問われました。日本語の正式名称は播種性血管内凝固症候群ですが、英語の正式名称はその時は答えられませんでした。ここでは正解を載せませんので興味がある方はぜひ調べてみてください。

以上、私が二級臨床検査士（血液学）を受けたときの概要になります。今後試験を受ける方の参考になれば幸いです。



会員のひろば

NHO まつもと医療センター 飯塚 裕大



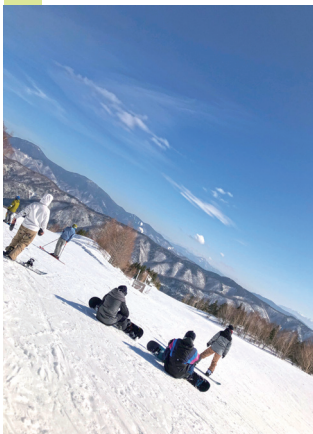
まつもと医療センターの飯塚裕大と申します。

皆さんは「趣味は何ですか?」と聞かれたときすぐに答えられるものがありますか?なかなか趣味が見つからないという方も多いのではないのでしょうか。

かくいう私も学生時代や社会人になりたての頃は趣味がなく、休日には昼からお酒を飲んでアニメを見ながらごろごろと過ごしていました。しかしながら、自然の恵みに満ち溢れている長野県で生活するようになり、夢中になれる趣味も増え、充実した生活を送れるようになりました。今回はそんな私の趣味について紹介いたします。

一つ目はスノーボードです。

私はもともと新潟県出身でスキーは学校の授業でも行うなど馴染みがあったのですが、スノーボードはスキーと感覚が全くの別物でした。特にリフトの乗り降りが初心者にとっては難関で何度も転んでしまいました。初めのうちは滑るコツが掴めずに転んでばかりいましたが、だんだんと体の使い方がわかってくるとある程度滑れるようになり、益々ハマっていきました。



長野県は標高 3,000 m 級の山が連なり、「日本の屋根」とも呼ばれています。県全域の標高も高く、標高 1,000 m を超える市町村も珍しくありません。

また、上質な雪を誇るスキー場が数多くあり、各エリアでウィンタースポーツを堪能できるのも長野県の魅力のひとつです。

長野県には、北アルプスを望む白馬、志賀、竜王などの高標高エリアから、観光も楽しみやすい軽井沢、佐久、八ヶ岳エリアまで多くのスキー場が点在しています。スキー場によって雪質や展望、ゲレンデのスケールが異なるため、お気に入りのゲレンデを見つけてみてはいかがでしょうか。

でしょうか。私のお勧めするスキー場は白馬の八方尾根スキー場です。山の上からの景色はとてよく空気も澄んでいるので、その中を滑るのは最高に気持ちいいものです。また、帰りに疲れた体を癒してくれる岩岳の湯という温泉も外すことはできません。

二つ目はバイクでのツーリングです。

私自身これまでバイクに対して特に関心もなかった事から、自分がバイクに乗ることは想像もできません

でした。そもそもバイクは体を守る部分がとても少なく、事故を起こしたらすぐに死につながるものと大げさに考えてもいました。友人に付き添いバイクを見に行った時に多種多様なラインナップ、自分の知らない世界を知る楽しさに興味が湧いてきました。気が付けば自分でもバイクについて調べ、友人と一緒に教習所に通い、あっという間にバイクまで購入していました。しかもこのバイク、いざ乗るととても楽しい。マニュアルなので自分で操作することや、車では感じられない風を体感することはとても爽快です。購入時期が年末付近だったこともあり、まだあまり多くは乗れていませんが、頂上から諏訪湖、富士山を一望できる高ボッチ山へツーリングに行った際には、紅葉に囲まれた山道の景色を楽しむことができました。ツーリングは走る場所や時期、時間帯によって季節の変わり目を肌で感じ取れることも醍醐味です。長野県には善光寺や諏訪大社といった有名な寺社も多いことから、暖かくなったらツーリングの傍らに御朱印集めをしようかと計画しております。

趣味ができたことにより、以前よりも充実した日々を送ることができていると自分でも感じております。今後も「長野と自然と趣味と」を心から満喫できるよう、検査技師としても日々精進していきたいと思います。



Case study

解答・解説は関信支部 HP に掲載いたします。

Question

外来採血室から写真のような検体（血算）が届きました。

皆さんならどのように対応しますか？



1. 検体凝固を疑い検体を取り直す
2. とりあえず検査する
3. 赤血球凝集を疑い加温する
4. 塗抹標本を作製し顕微鏡で確認する
5. 見なかったことにする

関信支部よりお知らせ

令和3年秋の叙勲におきまして、元国立相模原病院臨床検査技師長 金井 亨氏が保健衛生功労者として瑞宝双光章を、元国立療養所東宇都宮病院臨床検査技師長 金子 雅治氏が瑞宝単光章を受章されました。

金井 亨氏、金子 雅治氏のお二人のこれまでのご功績を讃えるとともに、国臨協関信支部会員一同、心よりお祝い申し上げます。

令和3年度前期監査報告

令和3年9月25日(土)に令和3年度前期監査を実施いたしました。監査報告につきまして、関信支部 HP にて掲載しております。

右記 QR コードより閲覧可能です。関信支部 HP パスワードを入力の上ご確認ください。



関信支部 HP

令和4年度国臨協関信支部役員公募のお知らせ

役員推薦委員長 竹内 智明
役員推薦委員 沼田ますみ
役員推薦委員 山田 大助

令和4年4月の国臨協関信支部定期総会において役員の設定を行います。

つきましては、国臨協関信支部役員推薦規定第3条により役員を公募いたします。

公募用紙は関信支部 HP の『関信支部とは／関信支部規約類』より「関信支部役員応募・推薦届出用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、以下の提出先に郵送またはメールにて書類を提出してください。なお、自薦であっても会員1名の推薦人(役職は問わない)を必要としていますことを申し添えます。

締め切り：令和4年2月25日(金)

提出先：〒272-8516

千葉県市川市府台1-7-1

国立研究開発法人

国立国際医療研究センター国府台病院

中央検査部 竹内 智明

E-mail：kn-20takeuchi@hospk.ncgm.go.jp



人事異動(令和3年7月2日～令和3年11月1日付)

辞令交付日	異動内容	氏名	新施設名	新職名	旧施設名	旧職名
7月2日	採用	柘植 秋歩	高崎総合医療センター	期間職員		
7月15日	採用	五十嵐智見	国立精神・神経医療研究センター病院	期間職員	国立精神・神経医療研究センター病院	非常勤
7月16日	採用	永井 正樹	国立国際医療研究センター病院	非常勤		
8月31日	退職	隠岐 博文			神奈川病院	主任技師
8月16日	採用	宗川 有紀	東長野病院	非常勤		
	採用	杉山 稔	国立精神・神経医療研究センター病院	非常勤		
8月31日	退職	所 綾香			東長野病院	非常勤
10月1日	採用	高橋佳代子	渋川医療センター	非常勤		
10月8日	採用	染次 広大	高崎総合医療センター	期間職員		
10月31日	退職	宮前 結加			埼玉病院	技師
	退職	竹内真菜美			埼玉病院	技師
	退職	柏木麻美子			相模原病院	技師

お詫びと訂正

関信支部ニュース 226 号(11月発行)におきまして、内容に一部誤りがございました。
11 ページ「人事異動」(誤)5月1日 採用 市川 彩果 技師(国立がん研究センター中央病院)
(正) 削除
会員の皆様ならびに関係各位には多大なるご迷惑をお掛けしますことを、深くお詫びいたすとともに、謹んで訂正させていただきます。

編集後記

明けましておめでとうございます。肌寒くなる季節になりましたが、皆様はどうお過ごしでしょうか。私は家中に温グッズを配置しました。

さて、今回の関信支部ニュースは研修会報告や資格試験など内容盛りだくさんとなっております。ぜひチェックしてみてください。

また、CaseStudy では、皆様から症例を募集しております。こんな症例について知りたい! などのご希望にもお応えできるようにしたいと考えております。ご連絡お待ちしております。(広報：中嶋)